

第 1 平成 1 6 年度気象庁関係予算概算要求総括表

(単位：百万円)

区 分	前 予 算 額	1 6 年 度 要 求 額	対前年度比	摘 要
	(A)	(B)	(B/A)	
一 般 会 計	62,389	① 536 70,203	1.13	① は国庫債務負担行為を示す。
(内 訳)				
物 件 費	22,806	① 536 30,356	1.33	
主 要 事 項	4,425	① 420 4,971	1.12	
一 般 事 項	18,381	① 116 25,385	1.38	
人 件 費	39,583	39,847	1.01	
特 別 会 計				
空港整備特別会計	10,386	① 25 10,880	1.05	
合 計	72,775	① 561 81,083	1.11	

(注)端数処理のため計算が合わない場合がある。

第2 主要事項の概要

1. 台風・豪雨等観測予報業務の強化

国民の安全と安心のための防災気象情報の高度化のため、土砂災害警戒情報作成システム、高性能数値予報モデル用スーパーコンピュータ及び次世代気象情報通信網の整備を行うとともに、防災気象情報の共有・利活用の推進を図る。また、次期静止気象衛星（運輸多目的衛星新2号）の整備を行う。

2. 地震対策の強化

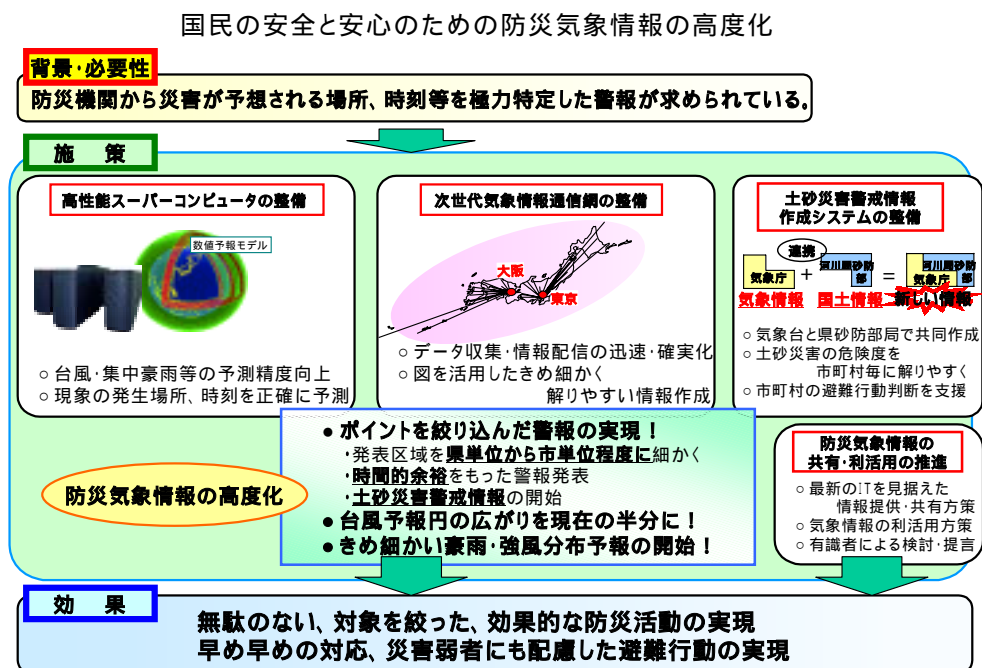
東海・東南海・南海等海溝型地震の監視体制を強化するため、東海地震の予測精度の向上及び東南海・南海地震の地震発生準備過程の研究を行うとともに、ケーブル式海底地震計及びナウキャスト地震計の整備を行う。また、関係機関震度データを収集するための受信装置及び北西太平洋津波監視のためのシステムの整備を行う。

3. 気候変動・地球環境対策の強化

地球温暖化などの気候変動・地球環境問題に対応するため、都市域におけるヒートアイランド解析システム、地球気候システム再現データベースの構築及び有害紫外線予測情報を提供するための観測装置の整備を行う。また、地球温暖化予測技術の高度化を推進する。

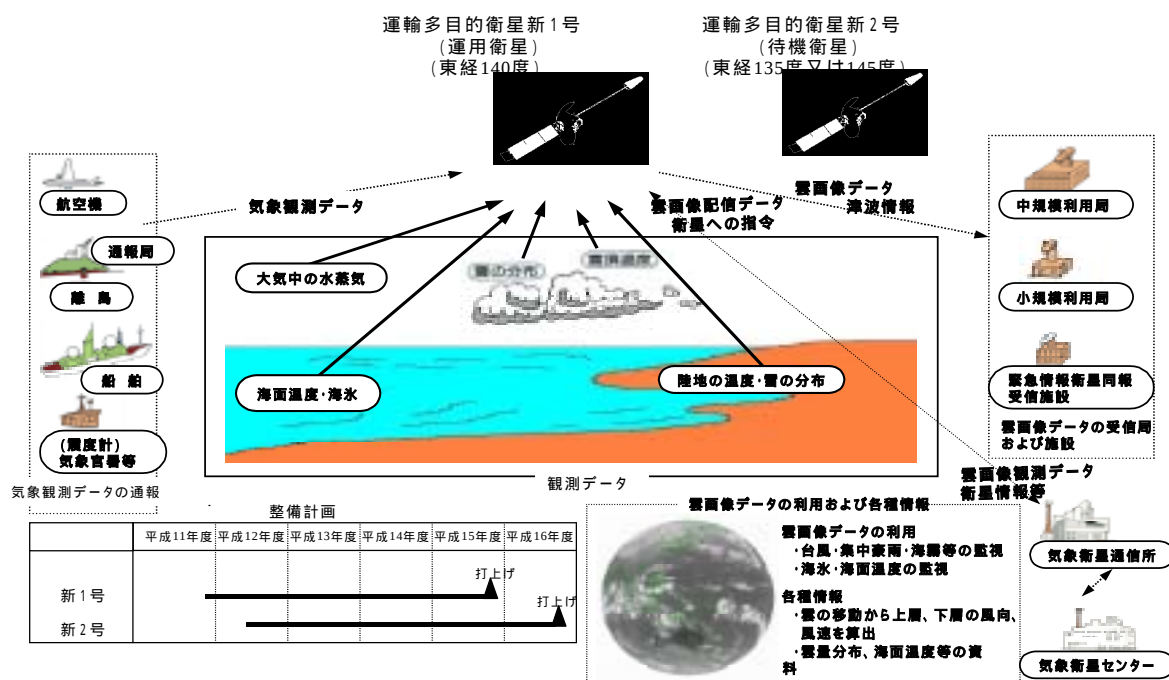
注) 次頁以下の(債)は国庫債務負担行為を示す。
次頁の前年度予算の大項目の額は、前年度限りの額を含む。

		(前年度予算)
	百万円	百万円
1. 台風・豪雨等観測予報業務の強化	(債) 420	
	4,090	(3,881)
(1) 国民の安全と安心のための防災気象情報の高度化	(債) 420	
土砂災害警戒情報作成システムの整備、高性能数値予報モデル 用スーパーコンピュータの整備、次世代気象情報通信網の整備、 防災気象情報の共有・利活用の推進	369	(560)



(2) 静止気象衛星(運輸多目的衛星新2号)の整備	3,721	(2,306)
---------------------------	-------	-----------

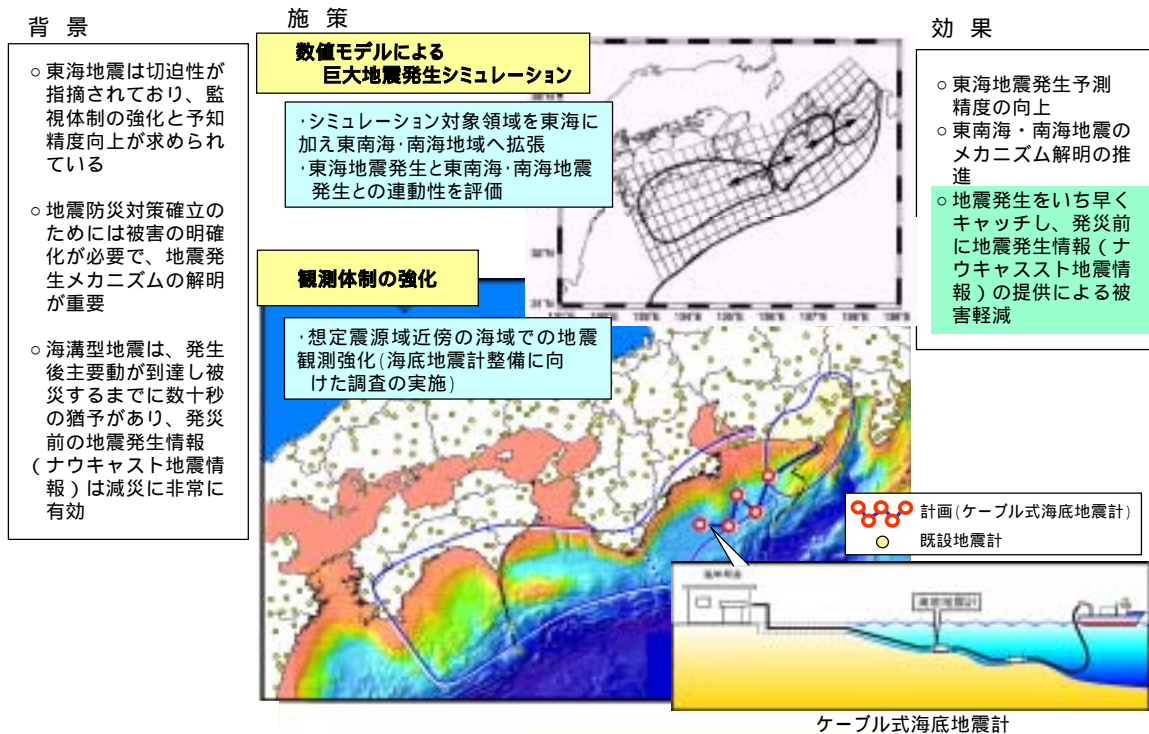
静止気象衛星(運輸多目的衛星新2号)の整備



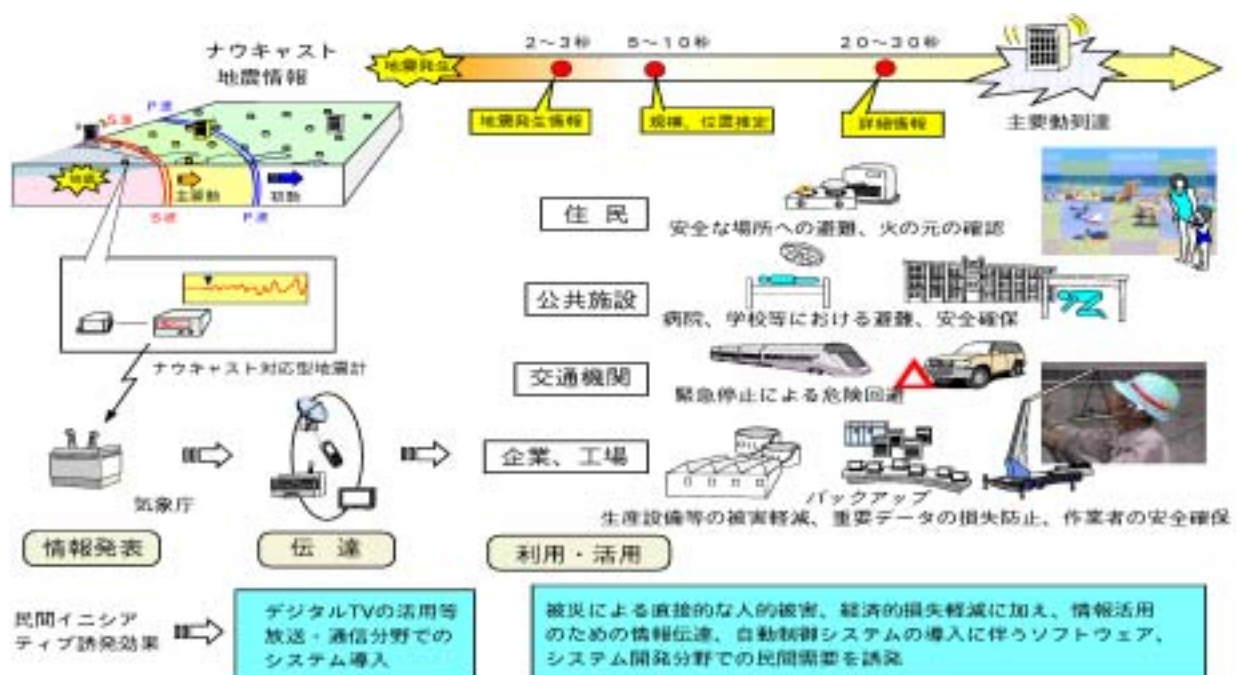
2. 地震対策の強化

- (1) 東海・東南海・南海地震等海溝型地震の監視体制の強化 527 (148)
- 東海地震の予測精度向上及び東南海・南海地震の発生準備過程の研究、
ケーブル式海底地震計の整備、ナウキャスト地震計の整備

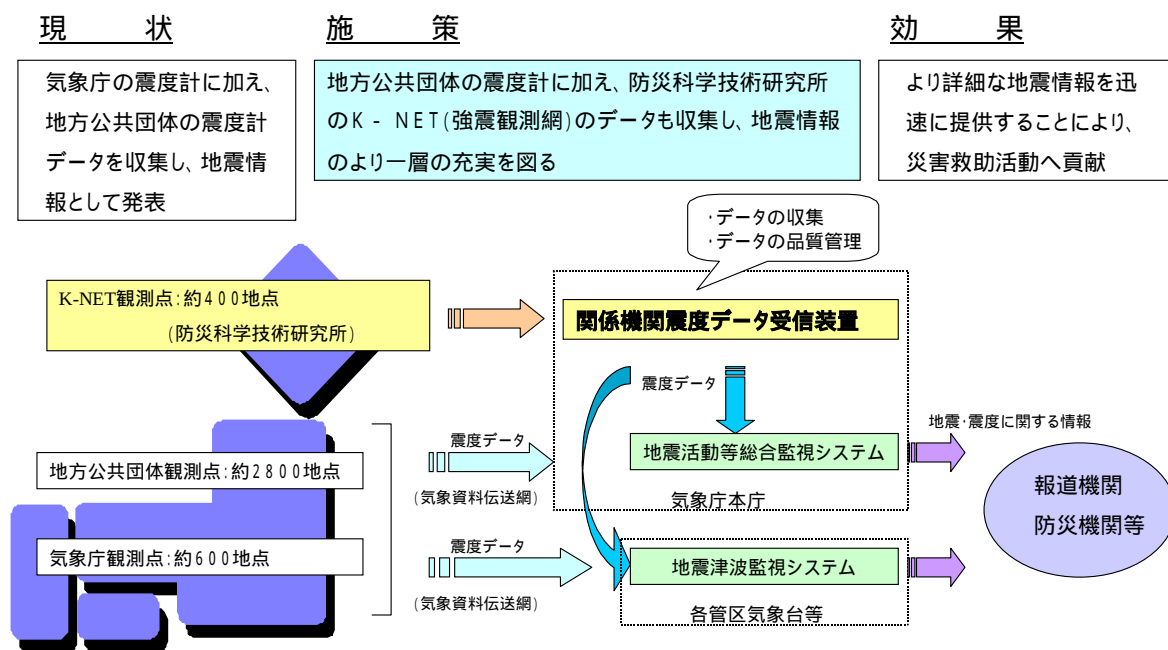
東海・東南海・南海地震等海溝型地震の監視体制の強化



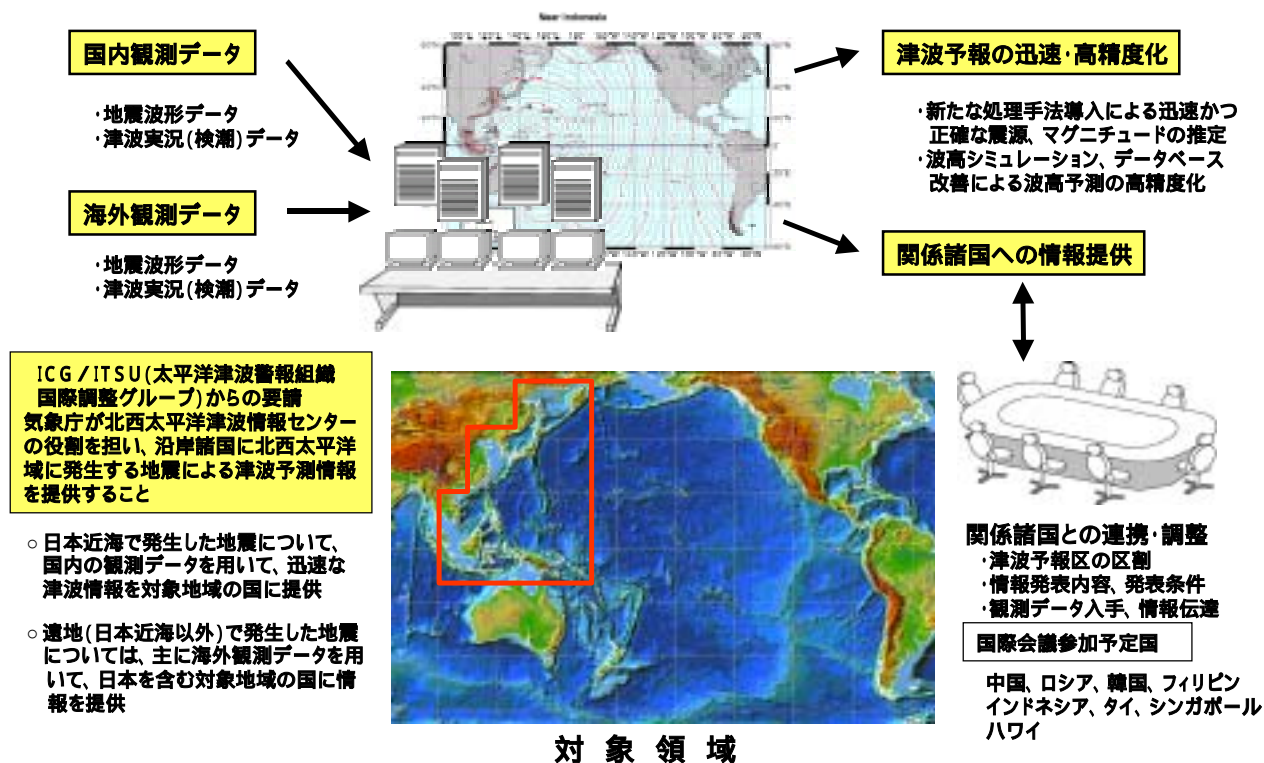
ナウキャスト地震計の整備



関係機関震度データ受信装置の整備



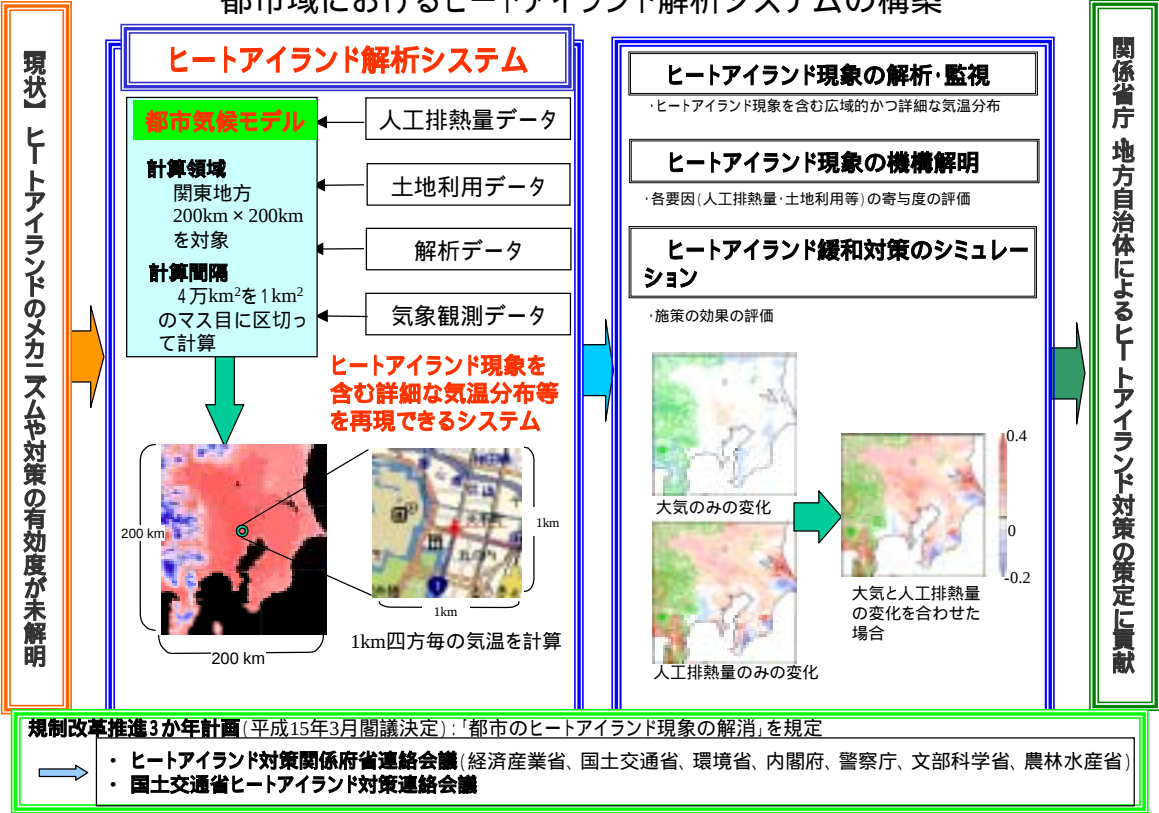
北西太平洋津波監視システムの整備



(前年度予算)
百万円 百万円

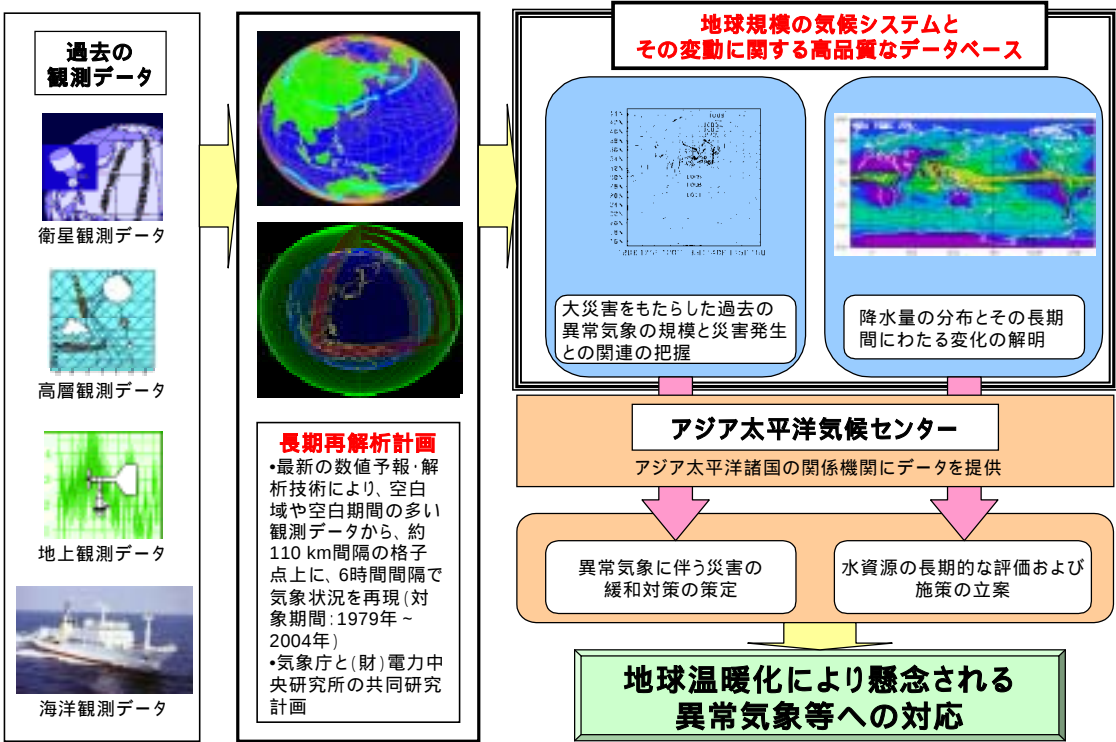
3. 気候変動・地球環境対策の強化	208	(	128)
(1) 都市域におけるヒートアイランド解析システムの構築	20	(	0)

都市域におけるヒートアイランド解析システムの構築

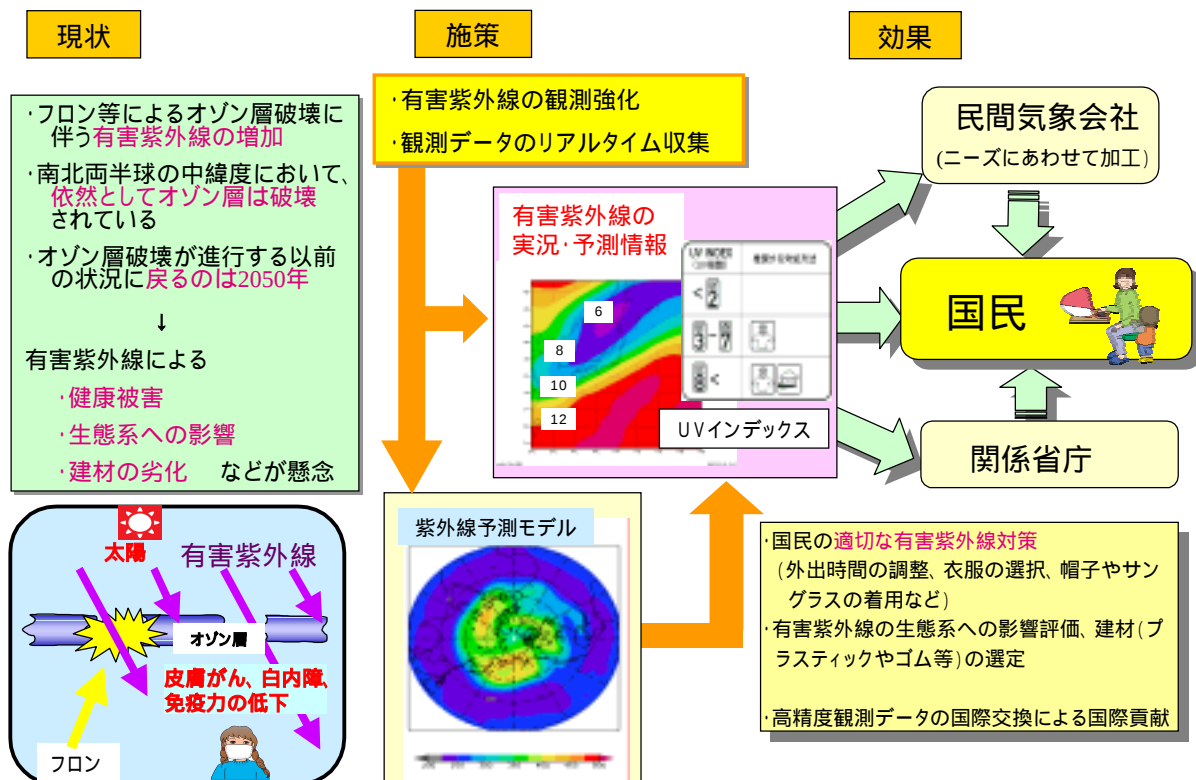


(2) 地球気候システム再現データベースの構築	19	(	0)
-------------------------	----	---	----

地球気候システム再現データベースの構築



有害紫外線予測情報の提供



地球温暖化による我が国の気候変化予測に関する研究

